

2020 * 春夏号

ゆうすかわらばん

VOL.25

函館市青年センターの広報紙



春の暖かさが心地良くて、木登りしちゃったニャ〜*



センターで活動するパワフルな女子たちを紹介します！



函館で活動するアーティストを紹介するニャ！



荒木スダツフに図書コーナーのこと聞いてきたニャ！

巻頭特集は「函館で活動する若手のアーティスト」！
アートって面白いな！

誰でもココロは青年！
いつでも



TAKE FREE



くどう

りょうすけ

工藤 亮佑 さん (22)

日常のできごとを元に、ユニークなものがたりを紡ぐ

絵を描くきっかけは？

彼が幼い頃は、鉛筆を持つ握力が弱く、自力で絵を描けませんでした。でも、描きたい気持ちはあったみたいで、「この絵を描いて」とよくお願いしていましたね。彼が小学3年生の時、七飯養護学校おしま学園分校へ転校しました。そこで、日記を書く時間が組まれていたのですが、彼は人物をキャラクターに見立てて絵日記を描き始めました。初めは4コマ漫画のように一日の出来事を書いていましたが、徐々に絵が独立していき、画用紙1枚に一つの場面を描くようになりました。

どんな絵を描いているの？

彼が描いているものは、日常生活の中で興味を持った出来事が元になっています。家族のことや学校での出来事、出かけた時のこと、地震が起きたときはそのことも絵に描いていました。彼にとって絵を描くことは生活の一部だと思います。最近、描きたいイメージがどんどん浮かんでくるのに、手が追いつかず、もどかしいみたいです。また、絵を通して彼が物事をどう見て考えているかを垣間見ることができるようになりました。

取材協力：工藤千寿 (母)

工藤亮佑 ▶ 1997年上磯町(現・北斗市)に生まれる。3歳の時、自閉症と診断を受ける。小学3年生から七飯養護学校おしま学園分校に通い、高校1年生から北海道教育大学附属特別支援学校に入学。卒業後は、社会福祉法人七飯有隣会が運営する「ワークショップ ドリ〜夢」で働きながら絵を描いている。現在、ささきようすけさんの絵画教室にも通っている。



いめうとか

さん (26)

自分を一番表現できるのが、絵を描くことでした

絵を描くきっかけは？

幼稚園児の時は、モニタリング娘が好きで、自分で作った架空のアイドルの絵をよく描いていました。絵はずっと好きだったので、大学はデザインを学べることに入学しました。私が行った大学には、学生が自由に作品を展示できるスペースがあり、自分の作品を眺めてもらうことに憧れを抱きました。それから、私も絵を描いてみよう!と思い、創作活動を始めました。初めて自分の絵を展示したとき、いろんな人が観てくれて、とても嬉しかったです。

どんな絵を描いているの？

主に人物画を描いています。私は意識しているつもりはなかったのですが、作品を観た方から“絵のモデルに似ている”“自画像みたいだね”といわれることが多く、だんだん自分でもそうかもしれないと思うようになりました。私は、言葉で思っていることや感情を表現するのが苦手ですが、絵だと素直に自分を出すことができます。なので、絵を観てもらうことは、自分を認めてもらうことであり、それが自信につながっています。

いめうとか ▶ 1994年札幌市に生まれる。札幌市立大学デザイン学部卒業。2017年に函館へ移住。現在は青年センターでアルバイトしながら創作活動をしている。年に1度、札幌のギャラリー犬堂で展覧を開催するほか、歌手・まふでゆりなどのオリジナルグッズのイラストを描いている。



ささき

ともゆき

佐久間 智之 さん (24)

僕の絵を見た人が自由に解釈してくれたらうれしいです

絵を描くきっかけは？

保育園に通っていた頃からずっと絵を描いていましたが、本格的に描くきっかけになったのは中学生の時です。今まで、家族以外の人に見せることがなかった絵を、学校の先生や教育実習に来ていた方に見せたら、「おもしろい!」「いい絵だね!」と言ってきて、それがとても嬉しかったんです。もっと僕の絵をいろんな人に見てほしいなと思いました。高校生のときに描いた『金森倉庫群と花咲く函館山』(B)が「日比野克彦賞」を受賞し、それから作品展に出品する絵も描くようになりました。

どんな絵を描いているの？

両親にドライブで連れて行ってもらった場所や日常生活の中で興味を持ったこと、あと大好きな車の絵を描いています。よく描くのが“実際にある風景や建物”に“僕の想像の人物”が登場する絵です。人物1人1人には僕が考えたストーリーや設定があります。以前は、僕の絵を観た人が自分の意図したことと違う感想を言うと、“違うんだけどなあ”と思っていましたが、最近は、見た人が好きのように想像して、自由に受け取ってもらうのが一番いいなと思っています。

佐久間智之 ▶ 1996年函館市に生まれる。1歳の時七飯町に移住。小学校卒業後、北海道教育大学特別支援学校に入学。高等部3年生の時、全国国立大学附属学校PTA連合会が主催する「第9回絵画コンクール2013」にて、『金森倉庫群と花咲く函館山』が日比野克彦賞を受賞。現在は市内の衣料品メーカーに勤めながら絵を描いている。



くどう

りょうすけ

工藤 亮佑 さん (22)

日常のできごとを元に、ユニークなものがたりを紡ぐ

絵を描くきっかけは？

彼が幼い頃は、鉛筆を持つ握力が弱く、自力で絵を描けませんでした。でも、描きたい気持ちはあったみたいで、「この絵を描いて」とよくお願いしていましたね。彼が小学3年生の時、七飯養護学校おしま学園分校へ転校しました。そこで、日記を書く時間が組まれていたのですが、彼は人物をキャラクターに見立てて絵日記を描き始めました。初めは4コマ漫画のように一日の出来事を書いていましたが、徐々に絵が独立していき、画用紙1枚に一つの場面を描くようになりました。

どんな絵を描いているの？

彼が描いているものは、日常生活の中で興味を持った出来事が元になっています。家族のことや学校での出来事、出かけた時のこと、地震が起きたときはそのことも絵に描いていました。彼にとって絵を描くことは生活の一部だと思います。最近、描きたいイメージがどんどん浮かんでくるのに、手が追いつかず、もどかしいみたいです。また、絵を通して彼が物事をどう見て考えているかを垣間見ることができるようになりました。

取材協力：工藤千寿 (母)

工藤亮佑 ▶ 1997年上磯町(現・北斗市)に生まれる。3歳の時、自閉症と診断を受ける。小学3年生から七飯養護学校おしま学園分校に通い、高校1年生から北海道教育大学附属特別支援学校に入学。卒業後は、社会福祉法人七飯有隣会が運営する「ワークショップ ドリ〜夢」で働きながら絵を描いている。現在、ささきようすけさんの絵画教室にも通っている。



いめうとか

さん (26)

自分を一番表現できるのが、絵を描くことでした

絵を描くきっかけは？

幼稚園児の時は、モニタリング娘が好きで、自分で作った架空のアイドルの絵をよく描いていました。絵はずっと好きだったので、大学はデザインを学べることに入学しました。私が行った大学には、学生が自由に作品を展示できるスペースがあり、自分の作品を眺めてもらうことに憧れを抱きました。それから、私も絵を描いてみよう!と思い、創作活動を始めました。初めて自分の絵を展示したとき、いろんな人が観てくれて、とても嬉しかったです。

どんな絵を描いているの？

主に人物画を描いています。私は意識しているつもりはなかったのですが、作品を観た方から“絵のモデルに似ている”“自画像みたいだね”といわれることが多く、だんだん自分でもそうかもしれないと思うようになりました。私は、言葉で思っていることや感情を表現するのが苦手ですが、絵だと素直に自分を出すことができます。なので、絵を観てもらうことは、自分を認めてもらうことであり、それが自信につながっています。

いめうとか ▶ 1994年札幌市に生まれる。札幌市立大学デザイン学部卒業。2017年に函館へ移住。現在は青年センターでアルバイトしながら創作活動をしている。年に1度、札幌のギャラリー犬堂で展覧を開催するほか、歌手・まふでゆりなどのオリジナルグッズのイラストを描いている。



ささき

ともゆき

佐久間 智之 さん (24)

僕の絵を見た人が自由に解釈してくれたらうれしいです

絵を描くきっかけは？

保育園に通っていた頃からずっと絵を描いていましたが、本格的に描くきっかけになったのは中学生の時です。今まで、家族以外の人に見せることがなかった絵を、学校の先生や教育実習に来ていた方に見せたら、「おもしろい!」「いい絵だね!」と言ってきて、それがとても嬉しかったんです。もっと僕の絵をいろんな人に見てほしいなと思いました。高校生のときに描いた『金森倉庫群と花咲く函館山』(B)が「日比野克彦賞」を受賞し、それから作品展に出品する絵も描くようになりました。

どんな絵を描いているの？

両親にドライブで連れて行ってもらった場所や日常生活の中で興味を持ったこと、あと大好きな車の絵を描いています。よく描くのが“実際にある風景や建物”に“僕の想像の人物”が登場する絵です。人物1人1人には僕が考えたストーリーや設定があります。以前は、僕の絵を観た人が自分の意図したことと違う感想を言うと、“違うんだけどなあ”と思っていましたが、最近は、見た人が好きのように想像して、自由に受け取ってもらうのが一番いいなと思っています。

佐久間智之 ▶ 1996年函館市に生まれる。1歳の時七飯町に移住。小学校卒業後、北海道教育大学特別支援学校に入学。高等部3年生の時、全国国立大学附属学校PTA連合会が主催する「第9回絵画コンクール2013」にて、『金森倉庫群と花咲く函館山』が日比野克彦賞を受賞。現在は市内の衣料品メーカーに勤めながら絵を描いている。

函館生まれ函館育ち。
7歳からバドミントンを始める。現在は市内で社会福祉法人の事務をしながら、MCCで活動している。
小学生の時は支部大会優勝(ダブルス・シングル)・全道大会出場、社会人になってからは、函館地区会長杯優勝(ダブルス・混合ダブルス) 函館地区春季バドミントン大会優勝(シングル・ダブルス)の実績を持つ。夏はゴルフ、冬は釣りをするのが好き。



1・2 七飯町で行われる公式試合に向けて練習中の高橋さん。試合の結果は5位だったが、新たな目標を持てたので、練習に励んでいるという高橋さん。3 青年センターフェスティバル2019の様子。高橋さんは一番中、高橋さんとメンバーで800人扱いで販売した。

エムシーシー
MCC

たかふじ ななか
高藤 奈々華さん

メンバー

青年センターで活動する若者たち! PART6

サークル活動をしている方にインタビューし、その人を通してサークルを知るというコーナーです。どのような思いを持ってサークル活動をしているのか見てみましょう!



苦手なプレーを克服し、出場する試合は必ず優勝したい。

バドミントンの出会い

私が7歳のとき、4つ上の兄がバドミントンをやっていたのがきっかけで私も始めました。地域の少年団チームに所属したのが小1の時、バドミントン以外にバレーボールやソフトボールもやっていたんですが、他のスポーツは長く続きませんでした。バドミントンならではの駆け引きが面白く、「絶対に負けたくない」という気持ちが強かったので毎日練習していましたね。中学～高校は部活で続けていました。高校卒業後は、市内の女子バドミントンクラブに所属していましたが、途中でMCCと合併して今に至ります。とにか夢中でやっていたら今日まで続いています。

バドミントンの魅力

バドミントンは一見楽しくないように見えますが、実はとても運動量の多いスポーツです。プロの世界ではスマッシュの最高速度は493kmとされています。アマチュアの試合でもスピードがあり、その中で軟打・強打・フェイントなど、色々な駆け引きをしながらゲームを作ります。その駆け引きが最大の魅力です。そのせいか、バドミントンをやっている人は良い言い方をすれば頭が切れる人が多く、悪く言えば賢くなる傾向がある気がしますね(笑) また、バドミントンは老若男女問わずさまざまな人が楽しめる競技なので、生涯ずっと続けることができるのも魅力だと思います。

やりがい・楽しいこと

社会人になると、職場と家の行き来だけで日々が単調になったり、新しい友達を作ったりするのが難しくなることが多いと思います。ですが、私の場合は、バドミントン活動があることで、仲間と過ごすことができています。試合に打ち込んだりして、変化のある日常を過ごすことができています。練習がある日は早く行くために、「仕事を頑張って終わらせよう!」というモチベーションにも繋がっています。また、バドミントンを通じていろんな人と交流することも楽しみの一つです。メンバーの中には、学生をはじめ、転勤などで函館に来た方など様々な人が活動しています。

これからの目標

MCCは仲間内で練習試合をするだけでなく、道内で開催される公式試合に出場し、いろんな人と対戦します。今の私の目標は、「出場する試合は必ず優勝すること」です。ここ数年、ケガや病気や練習に参加できない日が続く、とても苦しい思いをしました。試合に勝つととても嬉しく、自分の自信に繋がります。最近、特に力を入れていているのが、社会人から始めた混合ダブルス(男女1名ずつのダブルス)のプレーです。女子ダブルスではいつも後衛ですが、混合ダブルスでは女子が前衛になります。そのため、不慣れなことや苦手なことが多く、今はそれを克服するため練習を頑張っています。

函館学生連合
息吹

たかはし
高橋 ほのかさん

代表

帯広生まれ帯広育ち。
北海道教育大学函館校へ通う2年生で20代目息吹の代表。
文系の大学に進学しようと考えて函館校を受験。入学後、息吹に入学しYOSAKOIに没頭する。授業を受けていく中で、社会福祉の分野に興味を持つようになり、将来は函館が地元の帯広で社会福祉士として働くことを目標にしている。



代表としてみんなをひとつにし、本祭で大賞をもらえるように頑張りたい。

息吹へ入団

大学に入学したばかりの時、入ったサークルや部活はなかったのですが、サークルオリエンテーション(新入生に向けて行うサークルや部活の説明会)で息吹の演舞を見てその迫力に圧倒されました。強いのある大きな声と一致団結した踊りがとてもよくよく、私も踊りたい!と思いました。その後、体験入部をして、踊るのが楽しかったのももちろんですが、先輩から「入団したことを絶対後悔させないから!」という力強い言葉に背中を押され、息吹への入部を決意しました。私を含め新入生はほぼ初心者でしたが、先輩が一から指導してくれて、みんなYOSAKOIを踊れるようになりました。

YOSAKOIの魅力

観る側として感じる魅力はパワーをもらえることです。私自身、息吹の演舞を見て感動したように、YOSAKOIには人の心を動かす力があると思っています。踊り手として感じる魅力は、頑張った分だけ道通にいらっしゃるお客さんが拍手や歓声で評価してくれることです。どうお客さんに響いたかダイレクトに伝わるのがYOSAKOIならではの魅力です。また、YOSAKOIを始めたことで同じ目標を目指す仲間に出会えました。息吹のメンバーとは部活のこと以外にも授業や就職、恋愛の相談など様々なことを語り合います。大学入学後は家族以上に深く接しており、心強い存在です。

やりがい・楽しいこと

演舞作品をから仲間と作り上げることです。息吹は毎年8月に3年生が2年生へ世代交代し、翌年6月のYOSAKOIソーラン祭り(以下、本祭)で発表する演舞を2年生が約1年かけて作り上げていく流れになっています。今年は私たち20代目が6月の本祭に向けて準備をしています。どんな踊りをしたら思いが伝わるか、どんな衣装、音楽にしたら演舞のテーマを表現できるかなどを考えながら振り付けや衣装デザイン、曲を決めています。作品を生み出すことは大変ですが、息吹でしか表現できない唯一無二の演舞を完成させることに、とてもやりがいを感じます。

これからの目標

大きく2つあります。1つは本祭で賞をもらうことです。今年は息吹が誕生して20年という節目の年のため、演舞では「伝統」と「感謝の気持ち」を表現したいと思っています。私は代表としてまだ頼りないですが、みんなの気持ちをひとつにして本祭に挑めるよう頑張りたいです。もう1つの目標は、道南のYOSAKOIの踊り手を増やすことです。道南は北海道の中でも踊る人が少ないと言われていて、YOSAKOIチームにはそれぞれ独自の世界観があります。それを作り上げて披露する面白さを多くの人に感じてほしいと思っています。

MCC * お問い合わせ先

バドミントン好きの仲間が集まって発足した社会人中心のサークルです。一緒に楽しく汗を流しましょう!

080-1889-0215 (相原)
shintaro-a0215@ezweb.ne.jp

“MCC”について

2010年に創立した社会人バドミントンサークル。"MCC"は"三品カーカンパニー"の略で、チーム結成時、三品自動車株式会社に勤めるメンバーがいたことから、このチーム名がつけられた。『函館の一般バドミントンを盛り上げたい』『仲間内で楽しむだけでは終わるので、本気でやりたい人を集めたい』そして、誰でも入会できるチームを作りたい!という思いがきっかけで結成された。現在、メンバーは男女合わせて30名。函館地区大会、道南大会、青函対抗戦で優勝実績がある。

“息吹”について

2001年に北海道大学水産学部が発端となり結成されたYOSAKOIソーランチーム。道南支部に属するチームとしては唯一の学生チームで、現在約70名が在籍している。"よきこいの魅力をもっと多くの人に伝えたい"という19代目の思いから、2018年に「函館よきこい祭り」というイベントを立ち上げ、年1回、青年センターで開催している。イベントでは、道南5チームによるYOSAKOIソーラン演舞の披露、作品、衣装、曲などの説明を行い、YOSAKOIソーランを分かりやすく楽しめるような内容となっている。

～函館学生連合・息吹 * お問い合わせ先～
学生のみなさん、一緒に青春を謳歌しませんか?
初心者大歓迎です!

hakodate.ibuki@gmail.com

センター長コラム column

新型コロナウイルスが世界中の人々を脅かしています。感染拡大防止のため、函館市内の社会教育施設が臨時閉館となり、青年センターは3月3日～19日まで閉館しました。ウイルスの発生がメディアで報じられると、間もなくドラッグストアの店頭からはマスクとアルコール系消毒液が姿を消しました。また、混乱に乗じたデマによりトイレトペーパーが品薄になるなど、正確でない情報が蔓延し、それに振り回されるという状況も起きました。正確な情報を得ることは重要ですが、それは決して容易ではありません。情報の正確さを判断するのは自分自身であり、それを実行するには普段から常識や知識を身に付けておくことが大切であるということを今回のことを通して実感することができました。また、誤った情報を鵜呑みにしてしまうことで不安を感じ、自分だけが助かれば良いという心理が働いた時の人間の行動の恐ろしさも痛感しました。一日も早くこの事態が収束し、青年センターに利用者様の元氣な声が響く日が訪れるのを願うばかりです。



企画・発行／ 函館市青年センター

発行日／ 2020年3月30日

印刷／ (株)プリントハウス

制作／ 函館市青年センタースタッフ
中村 友美

— ご利用方法 —

① 青年団体の利用(青年団体登録が必要です)

- 青年団体登録をしていただくと、無料で部屋を借りることができます。
青年団体登録の条件…5名以上で組織され、満15歳以上29歳未満の青少年が半数以上を占めて継続的に活動する団体。
- 利用したい月の2か月前の月初め第1日から窓口先着順に受付します。
※第1日が水曜日の場合は木曜が第1日になります。
※第1日の14時以降は電話でのご予約も可能です。

— 青年センターは市民みんなのセンターです。 —

青少年をはじめ市民の皆さまに広くご利用いただけます。キャッチフレーズは「いつでも 誰でも ココロは青年」。かつて青年だった方もこれから青年になる方も、いつでも誰でも気軽に使える施設です。「イベントを開きたい」「展示場所を探している」「会議や研修に使いたい」などご要望がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

② 一般団体の利用

- 青年団体が利用していない時に有料で利用できます。
- 政治や宗教活動、営利目的では使用できません。
- 利用したい月の前月の月初め第1日午前9時から、1階ロビーにて抽選を行います。
※第1日が水曜日の場合は木曜が第1日になります。
※1日の14時以降は電話でのご予約も可能です。

【使用料】※冬期間(11月～4月)は、()内の暖房費がかかります。

室名	収容目安	午前	午後	夜間
体育館	200名	各2,500円 (各1,750円)	各2,500円 (各1,750円)	5,000円 (2,000円)
第1クラブ室	24名	各700円 (各120円)	各700円 (各120円)	1,000円 (140円)
第2クラブ室	10名	各400円 (各70円)	各400円 (各70円)	500円 (80円)
会議室	48名	各800円 (各150円)	各800円 (各150円)	1,300円 (170円)
和室	10名	各600円 (各110円)	各600円 (各110円)	900円 (120円)
音楽室	15名	各300円 (各60円)	各300円 (各60円)	500円 (60円)
調理実習室	12名	各1,500円 (各110円)	各1,500円 (各110円)	2,000円 (120円)
相談室	10名	—	—	—
1階ロビー	70名	—	—	—

午前 9:00～13:00

午後 13:00～17:00

夜間 17:00～22:00

函館市青年センター

函館市指定管理者／ 函館市青年サークル協議会グループ

〒040-0013
北海道函館市千代台町27番5号 TEL 0138-51-3390
E-mail * info@hako-youth.com FAX 0138-51-3395

開館時間 * 9:00～22:00(水曜のみ17:00～22:00)
休館日 * 年末年始(12月31日～1月3日)

